

# 自殺の動向について

～3月は自殺対策強化月間です～



令和5年3月30日

厚生労働省社会・援護局総務課自殺対策推進室

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

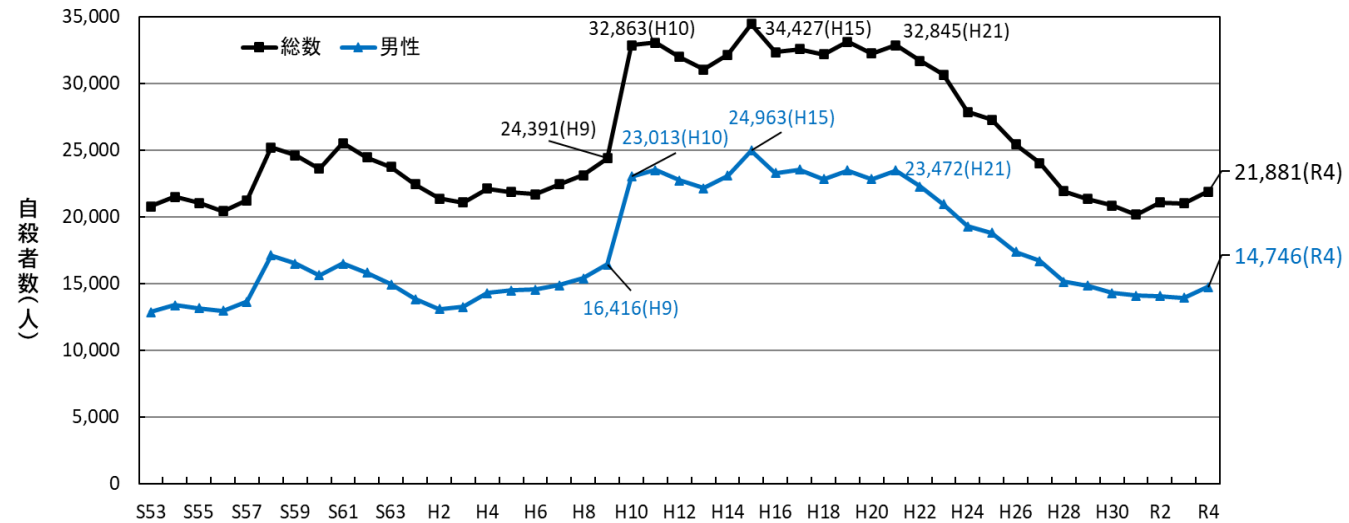
# 自殺者数の年次推移（昭和53年～令和4年）

令和5年3月14日現在

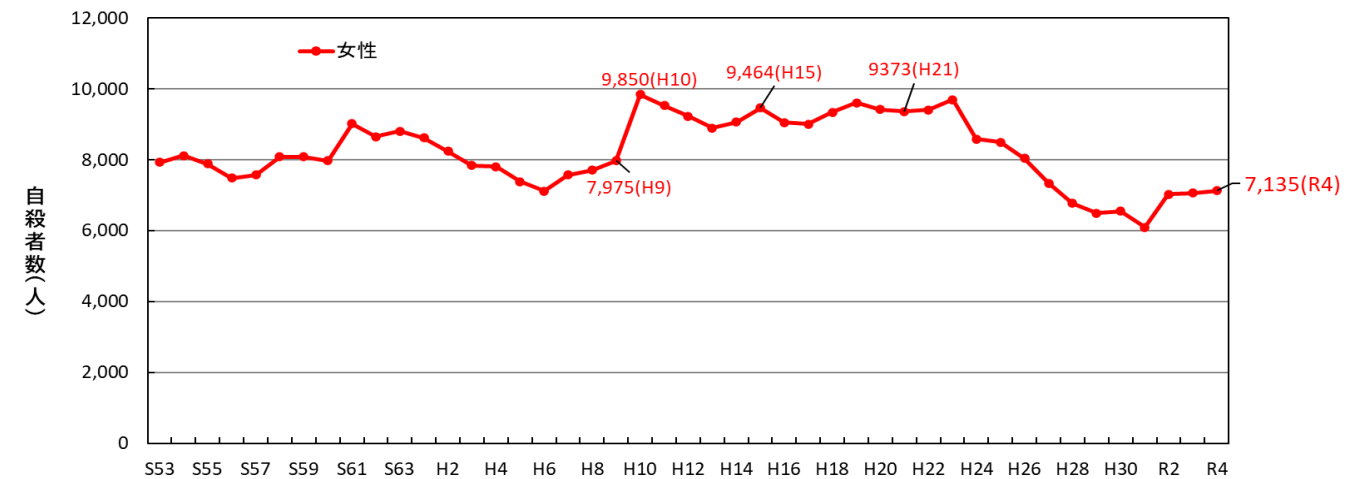
年次別	総数	男性	女性
S53	20,788	12,859	7,929
S54	21,503	13,386	8,117
S55	21,048	13,155	7,893
S56	20,434	12,942	7,492
S57	21,228	13,654	7,574
S58	25,202	17,116	8,086
S59	24,596	16,508	8,088
S60	23,599	15,624	7,975
S61	25,524	16,497	9,027
S62	24,460	15,802	8,658
S63	23,742	14,934	8,808
H1	22,436	13,818	8,618
H2	21,346	13,102	8,244
H3	21,084	13,242	7,842
H4	22,104	14,296	7,808
H5	21,851	14,468	7,383
H6	21,679	14,560	7,119
H7	22,445	14,874	7,571
H8	23,104	15,393	7,711
H9	24,391	16,416	7,975
H10	32,863	23,013	9,850
H11	33,048	23,512	9,536
H12	31,957	22,727	9,230
H13	31,042	22,144	8,898
H14	32,143	23,080	9,063
H15	34,427	24,963	9,464
H16	32,325	23,272	9,053
H17	32,552	23,540	9,012
H18	32,155	22,813	9,342
H19	33,093	23,478	9,615
H20	32,249	22,831	9,418
H21	32,845	23,472	9,373
H22	31,690	22,283	9,407
H23	30,651	20,955	9,696
H24	27,858	19,273	8,585
H25	27,283	18,787	8,496
H26	25,427	17,386	8,041
H27	24,025	16,681	7,344
H28	21,897	15,121	6,776
H29	21,321	14,826	6,495
H30	20,840	14,290	6,550
R1	20,169	14,078	6,091
R2	21,081	14,055	7,026
R3	21,007	13,939	7,068
R4	21,881	14,746	7,135

○令和4年の自殺者数は21,881人となり、対前年比874人（約4.2%）増。  
 ○男女別にみると、男性は13年ぶりの増加、女性は3年連続の増加となっている。  
 また、男性の自殺者数は、女性の約2.1倍となっている。

総数・男性

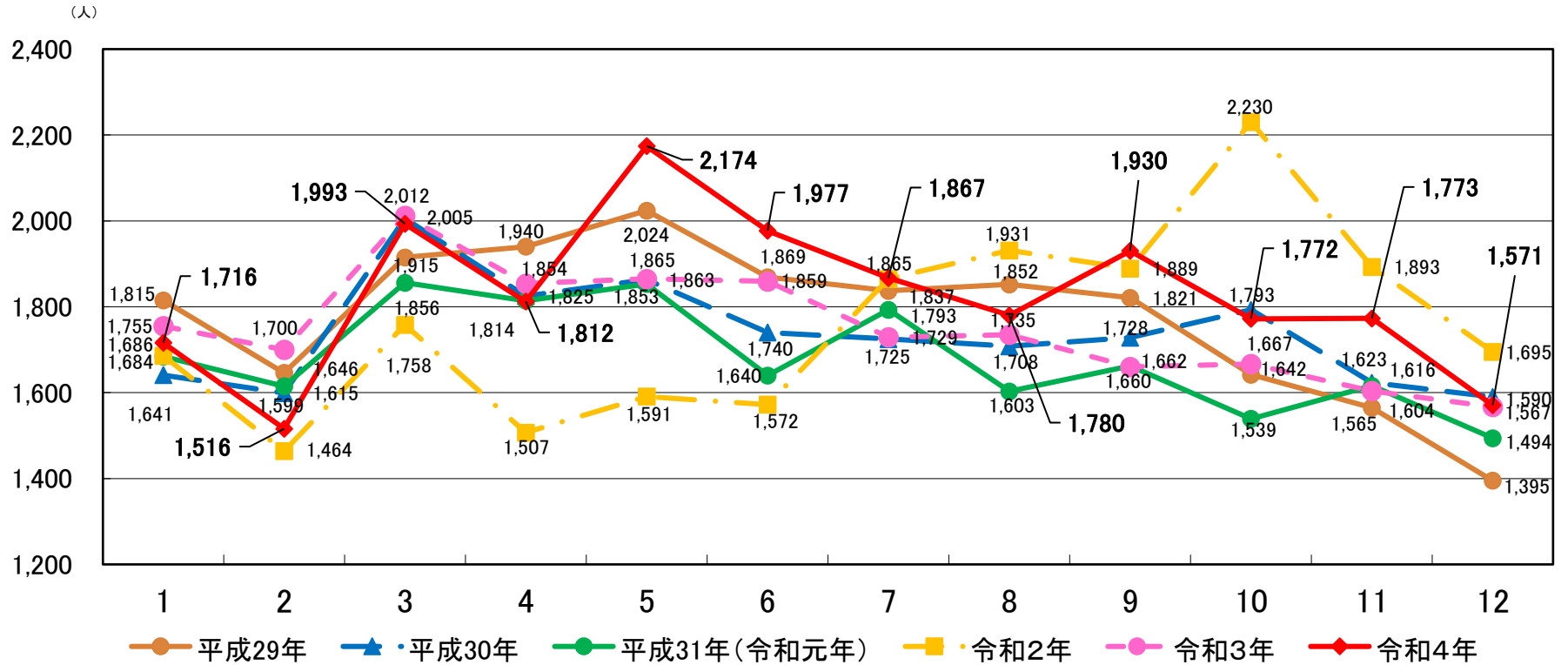


女性



# 自殺者数の最近の動向（月別総数）

令和5年3月14日現在



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和4年	合計	1,716	1,516	1,993	1,812	2,174	1,977	1,867	1,780	1,930	1,772	1,773	1,571	21,881
	男性	1,146	1,028	1,355	1,231	1,447	1,315	1,260	1,215	1,283	1,230	1,185	1,051	14,746
	女性	570	488	638	581	727	662	607	565	647	542	588	520	7,135
令和3年	合計	1,755	1,700	2,012	1,854	1,865	1,859	1,729	1,735	1,660	1,667	1,604	1,567	21,007
	男性	1,182	1,142	1,336	1,244	1,225	1,222	1,160	1,116	1,107	1,120	1,062	1,023	13,939
	女性	573	558	676	610	640	637	569	619	553	547	542	544	7,068
対前年増減数(月別) <4-3>	総数	-39	-184	-19	-42	309	118	138	45	270	105	169	4	874
	男性	-36	-114	19	-13	222	93	100	99	176	110	123	28	807
	女性	-3	-70	-38	-29	87	25	38	-54	94	-5	46	-24	67
対前年増減率(月別) <4/3>	総数	-2.2%	-10.8%	-0.9%	-2.3%	16.6%	6.3%	8.0%	2.6%	16.3%	6.3%	10.5%	0.3%	4.2%
	男性	-3.0%	-10.0%	1.4%	-1.0%	18.1%	7.6%	8.6%	8.9%	15.9%	9.8%	11.6%	2.7%	5.8%
	女性	-0.5%	-12.5%	-5.6%	-4.8%	13.6%	3.9%	6.7%	-8.7%	17.0%	-0.9%	8.5%	-4.4%	0.9%

# 【令和4年と令和3年の比較】年齢階級別、職業別、原因・動機別について

令和5年3月14日現在

## 1. 年齢階級別の比較

		自殺者数	20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳
令和4年 (確定値)	総数	21,881	798	2,483	2,545	3,665	4,093	2,765	2,994	2,490	48
	男	14,746	464	1,672	1,784	2,611	2,848	1,862	1,906	1,558	41
	女	7,135	334	811	761	1,054	1,245	903	1,088	932	7
令和3年 (確定値)	総数	21,007	750	2,611	2,554	3,575	3,618	2,637	3,009	2,214	39
	男	13,939	426	1,699	1,810	2,519	2,492	1,741	1,892	1,323	37
	女	7,068	324	912	744	1,056	1,126	896	1,117	891	2
差	総数	874	48	-128	-9	90	475	128	-15	276	9
	男	807	38	-27	-26	92	356	121	14	235	4
	女	67	10	-101	17	-2	119	7	-29	41	5

## 2. 職業別の比較

		有職者（自営業・ 家族従業者+被雇 用者・勤め人）	学生・生徒等	無職者	うち主婦	うち失業者	うち年金・雇用保 険等生活者	うちその他の無職 者	不詳
令和4年 (確定値)	総数	8,576	1,063	11,775	1,166	1,220	6,074	3,315	467
	男	6,811	663	6,915	0	988	3,740	2,187	357
	女	1,765	400	4,860	1,166	232	2,334	1,128	110
令和3年 (確定値)	総数	7,990	1,031	11,639	1,136	636	5,001	4,866	347
	男	6,278	622	6,753	0	541	3,043	3,169	286
	女	1,712	409	4,886	1,136	95	1,958	1,697	61
差	総数	586	32	136	30	584	1,073	-1,551	120
	男	533	41	162	0	447	697	-982	71
	女	53	-9	-26	30	137	376	-569	49

## 3. 原因・動機別の比較

		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
令和4年 (確定値)	総数	4,775	12,774	4,697	2,968	828	579	1,734	2,717
	男	2,885	7,301	4,127	2,538	485	392	1,192	2,043
	女	1,890	5,473	570	430	343	187	542	674

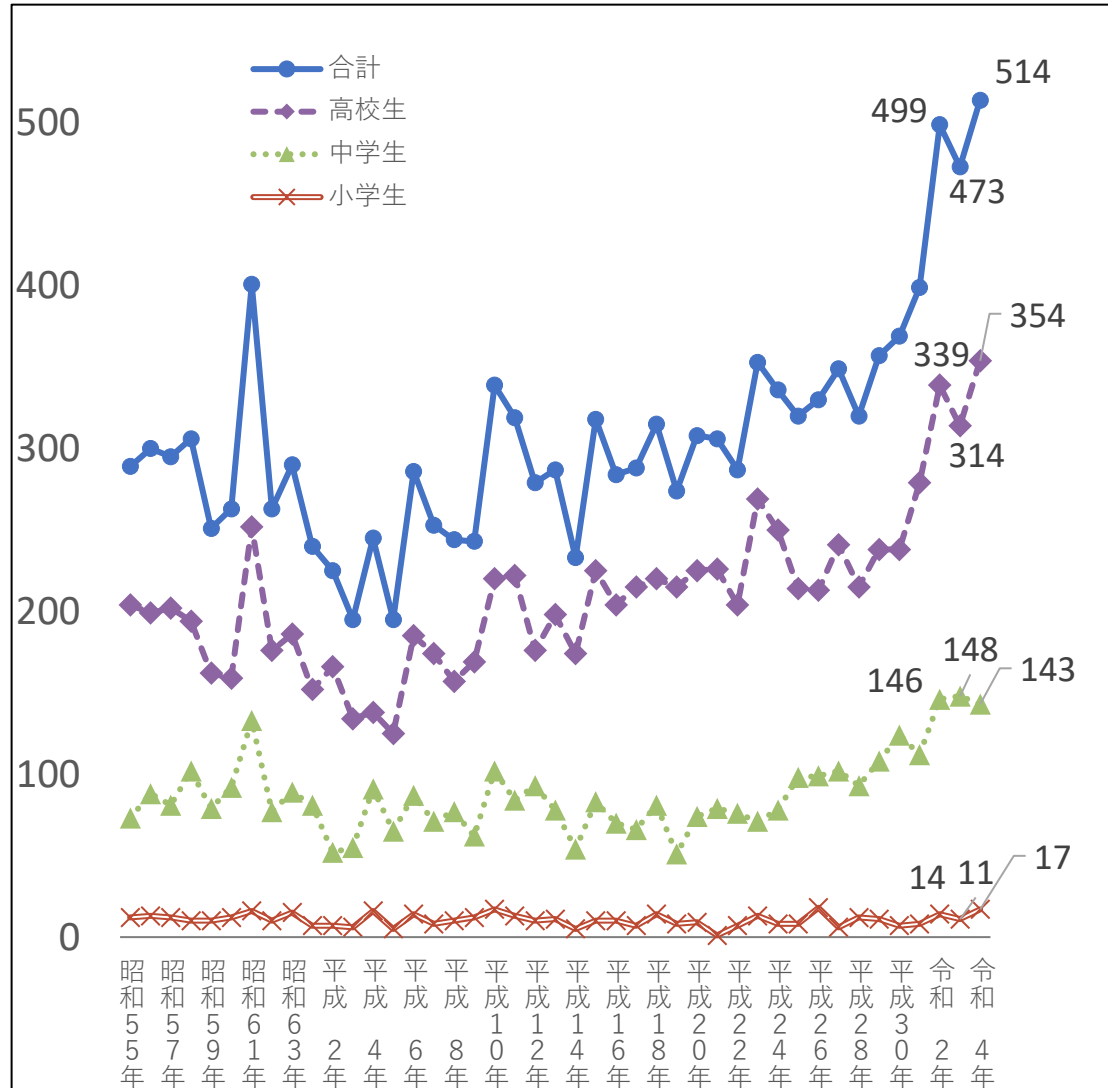
		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳
令和3年 (確定値)	総数	3,200	9,860	3,376	1,935	797	370	1,302	5,914
	男	1,843	5,485	2,922	1,628	451	246	915	4,233
	女	1,357	4,375	454	307	346	124	387	1,681

※令和3年までは、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機について、自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、令和4年1月からは、家族の証言等から自殺の原因・動機と考えられるものについて、自殺者一人につき4つまで計上可能とした。このため単純に比較はできない。

# 【令和4年確定値】小中高生の自殺者数年次推移

令和5年3月14日現在

(人)

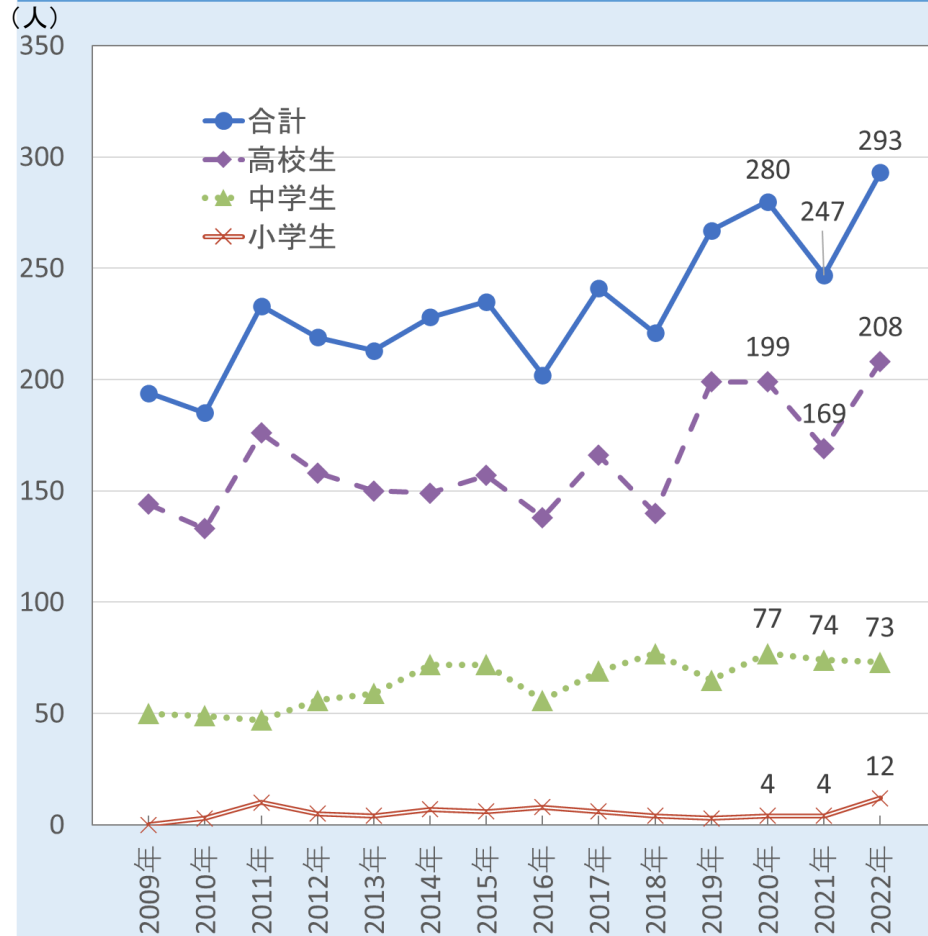


【令和3年、令和4年】  
小中高生の自殺者数年次比較

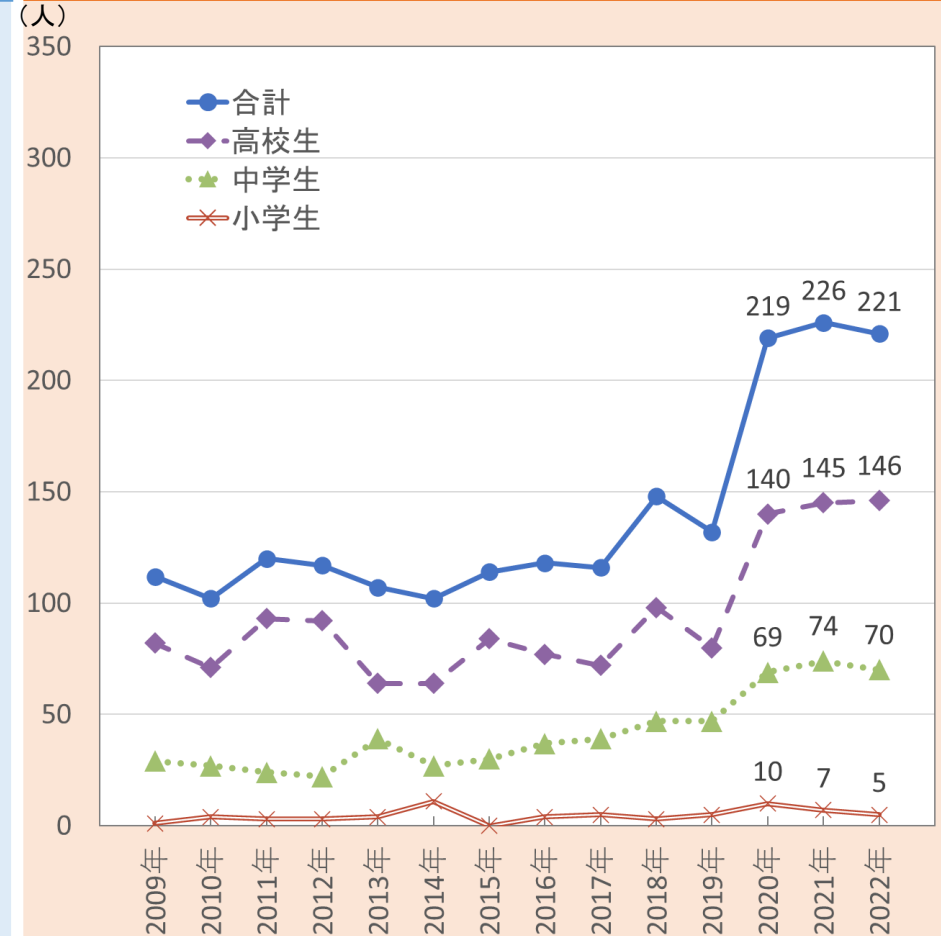
	令和3年	令和4年	対前年増減数 (R4 - R3)
合計	473人	514人	41
小学生	11人	17人	6
中学生	148人	143人	-5
高校生	314人	354人	40

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

## 男子生徒



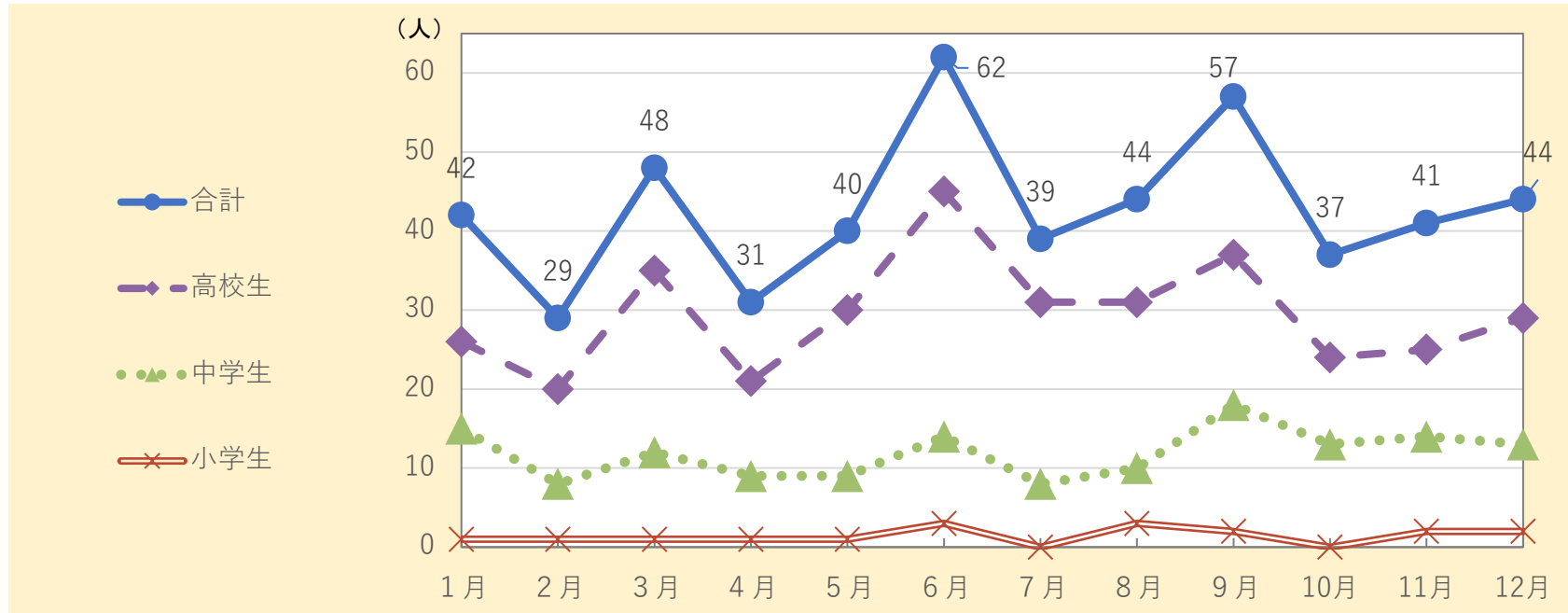
## 女子生徒



資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成

# 【令和4年】小中高生の自殺者数(月別推移)

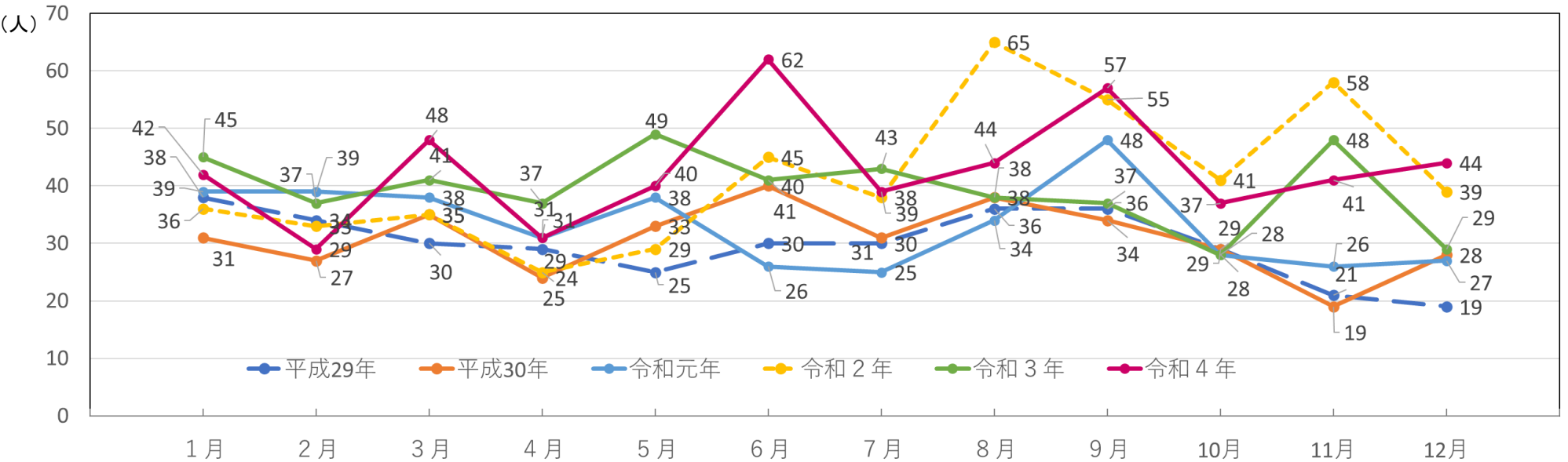
令和5年3月14日現在



		(人)													
		年合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
計	計	514	42	29	48	31	40	62	39	44	57	37	41	44	
	男	293	27	14	26	21	26	28	24	29	25	24	22	27	
	女	221	15	15	22	10	14	34	15	15	32	13	19	17	
小学生	計	17	1	1	1	1	1	3	0	3	2	0	2	2	
	男	12	1	0	0	1	1	3	0	3	1	0	0	2	
	女	5	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	
中学生	計	143	15	8	12	9	9	14	8	10	18	13	14	13	
	男	73	7	2	8	6	6	6	6	4	6	9	7	6	
	女	70	8	6	4	3	3	8	2	6	12	4	7	7	
高校生	計	354	26	20	35	21	30	45	31	31	37	24	25	29	
	男	208	19	12	18	14	19	19	18	22	18	15	15	19	
	女	146	7	8	17	7	11	26	13	9	19	9	10	10	

# 小中高生の自殺者数推移(年別、月別)

令和5年3月14日現在



(人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和4年	合計	42	29	48	31	40	62	39	44	57	37	41	44	514
	男性	27	14	26	21	26	28	24	29	25	24	22	27	293
	女性	15	15	22	10	14	34	15	15	32	13	19	17	221
令和3年	合計	45	37	41	37	49	41	43	38	37	28	48	29	473
	男性	31	15	22	21	26	12	20	19	24	15	27	15	247
	女性	14	22	19	16	23	29	23	19	13	13	21	14	226
対前年増減数	総数	△3	△8	7	△6	△9	21	△4	6	20	9	△7	15	41
	男性	△4	△1	4	0	0	16	4	10	1	9	△5	12	46
	女性	1	△7	3	△6	△9	5	△8	△4	19	0	△2	3	△5
対前年増減率	総数	-7.1%	-27.6%	14.6%	-19.4%	-22.5%	33.9%	-10.3%	13.6%	35.1%	24.3%	-17.1%	34.1%	8.0%
	男性	-14.8%	-7.1%	15.4%	0.0%	0.0%	57.1%	16.7%	34.5%	4.0%	37.5%	-22.7%	44.4%	15.7%
	女性	6.7%	-46.7%	13.6%	-60.0%	-64.3%	14.7%	-53.3%	-26.7%	59.4%	0.0%	-10.5%	17.6%	-2.3%



# 【令和4年】小中高生の自殺の原因・動機

令和5年3月14日現在

令和4年 (確定値)		自殺者総数	家庭問題	健康問題	経済・ 生活問題	勤務問題	交際問題	計	学校問題								その他	不詳
									学業不振	入試に 関する悩み	進路に関する悩み (入試以外)	いじめ	学友との不和 (いじめ以外)	教師との 人間関係	性別による差別	学校問題その他		
									小学生	総計	17	4	3	0	0	0		
	男性	12	3	2	0	0	0	4	2	0	0	1	1	0	0	0	3	3
	女性	5	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1
中学生	総計	143	43	25	1	0	3	84	22	17	25	2	11	1	0	6	22	30
	男性	73	25	12	1	0	1	43	13	10	13	1	3	1	0	2	13	14
	女性	70	18	13	0	0	2	41	9	7	12	1	8	0	0	4	9	16
高校生	総計	354	67	101	8	1	27	189	58	20	35	5	35	7	1	28	41	59
	男性	208	38	35	6	1	18	125	43	15	26	1	16	5	1	18	26	42
	女性	146	29	66	2	0	9	64	15	5	9	4	19	2	0	10	15	17
合計	総計	514	114	129	9	1	30	281	83	37	60	8	49	8	1	35	66	93
	男性	293	66	49	7	1	19	172	58	25	39	3	20	6	1	20	42	59
	女性	221	48	80	2	0	11	109	25	12	21	5	29	2	0	15	24	34

家族の証言  
等から、自殺者一人につき4つまで計上可能

令和3年 (確定値)		自殺者総数	家庭問題	健康問題	経済・ 生活問題	勤務問題	男女問題	計	学校問題							その他	不詳	
									学業不振	入試に関する悩み	その他進路に関する悩み	いじめ	その他学友との不和	教師との人間関係	その他学校問題			
									小学生	総計	11	3	1	0	0			0
	男性	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女性	7	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
中学生	総計	148	30	21	0	0	6	43	13	3	6	3	10	2	6	11	66	
	男性	74	12	7	0	0	5	17	8	2	4	0	1	0	2	5	41	
	女性	74	18	14	0	0	1	26	5	1	2	3	9	2	4	6	25	
高校生	総計	314	45	87	2	0	24	107	27	14	27	5	14	3	17	23	102	
	男性	169	27	31	2	0	11	74	22	10	22	1	6	2	11	16	59	
	女性	145	18	56	0	0	13	33	5	4	5	4	8	1	6	7	43	
合計	総計	473	78	109	2	0	30	151	40	18	33	8	24	5	23	34	174	
	男性	247	41	38	2	0	16	91	30	12	26	1	7	2	13	21	102	
	女性	226	37	71	0	0	14	60	10	6	7	7	17	3	10	13	72	

遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機について、自殺者一人につき3つまで計上可能

※令和3年までは、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機について、自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、**令和4年1月からは、家族の証言等から自殺の原因・動機と考えられるものについて、自殺者一人につき4つまで計上可能とした。このため単純に比較はできない。**

# 參考資料

- 自殺対策基本法では3月を「自殺対策強化月間」と位置付けており、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に向けて相談事業や啓発活動を集中的に実施。
- 電話やSNSによる相談支援体制の拡充や、自殺者が増加している中高年層や子ども・若者を中心に、ポスターや動画による相談の呼びかけなどを行っている。

## <相談事業の拡充>

- こころの健康相談統一ダイヤル（自治体）
  - 都道府県・指定都市の10か所で拡充
    - ・運用時間の延長 8か所
    - ・回線の増設・新設 4か所
- SNS・電話相談事業等（民間団体）
  - 5団体で拡充
    - ・相談員増員、相談時間延長 等
- 全国の自治体、民間団体による無料相談会等の実施

## <広報ポスター>

【中高年層向け】



【子ども・若者向け】



## <自殺防止に向けた集中的な啓発活動>

- 全国での広報ポスターの掲示
- 全国の自治体、公共施設、学校、医療機関、駅舎、商業施設等に広報ポスターを掲示
- 電話やSNSの相談窓口等を周知
- インターネット（PC、スマートフォン）を活用した広報
  - ・多くの国民が利用するYouTubeなどのSNS上での動画広告により相談を呼びかけ
  - ・厚生労働省のTwitter、Facebookで相談窓口やゲートキーパー等を集中的に投稿
- 全国の約600の自治体（約1,000件）や関係団体等がさまざまな取り組みを実施。（心の健康づくり講座、ゲートキーパー養成研修、相談窓口のリーフレット配布、シンポジウム・研修会の開催、駅構内での広報動画の放映等）

## ＜子ども・若者への相談等の呼びかけ＞

なや きも  
悩みや気持ちをきかせてください  
わか せだい  
～若い世代のみなさんへ～

しんろ ゆうじん かぞく かん なや かか なん ふあん かん  
進路や友人、家族に関する悩みを抱えたり、何となく不安を感じ

たりすることはありますか？

なや  
どうかひとりで悩まないでください。  
かぞく ゆうじん みちか きも つた ひと  
家族や友人など、身近に気持ちを伝えられる人はいませんか？  
みちか ひと はな とき わか せだい たいりょう  
身近な人に話しづらい時には、若い世代のみなさんを対象とした  
えすえぬえす そうだんまどぐち きがる なや きも  
SNSでの相談窓口もあります。スマホから気軽に悩みや気持ち

を伝えてみてください。

ひと はな こころ らく  
人に話してみることで、心が楽になるのではないのでしょうか。

ゆうじん ようす ちが かん こえ  
また、友人の様子がいつもと違うと感じたときには声をかけてみて  
こえ ふあん なや すこ  
ください。声をかけあうことで、不安や悩みを少しでもやわらげること  
ができるかもしれません。

こえ ま ひと  
あなたの声かけを待っている人がいます。

れいわ ねん がつ にち  
令和5年2月28日

こうせいろうどうだいじん かとうかつのぶ  
厚生労働大臣 加藤勝信  
もんぶかがくだいじん ながおかけいこ  
文部科学大臣 永岡桂子  
せいさくたんどうだいじん おぐらまさのぶ  
子ども政策担当大臣 小倉将信



厚生労働省ウェブサイト「まもろうよこころ」

▶電話やSNSの相談窓口等を分かりやすく紹介

<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>



## ＜自治体首長への取組推進の呼びかけ＞

### いのちを支える自殺対策の推進のために

各 都道府県知事 殿  
各 指定都市市長 殿  
各 市区町村長 殿

3月は自殺対策強化月間です。

先般公表された令和4年の年間自殺者数は21,843人と前年を上回り、中高年を中心に男性は13年ぶりに増加し、小中高生の自殺者数は過去最多の512人となっております。

昨年10月に策定した新たな「自殺総合対策大綱」においては、今後対応すべき課題として「子ども・若者の自殺対策の更なる強化」、「女性に対する支援の強化」、「地域自殺対策の取組強化」等について国や地方自治体、民間団体等が一丸となって取り組むこととしています。

自殺対策では、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策との有機的な連携を図ることが重要です。そのため、住民に身近な地方自治体の役割は大きく、貴職の強力なリーダーシップの下、地域自殺対策計画の充実、地域自殺対策推進センターの強化、相談窓口や支援機関とのネットワーク強化などの施策を一層推進していただくようお願いいたします。

また、国においては、この4月からこども家庭庁を創設し、こどもの居場所づくりや、いじめの防止対策の強化など、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組を加速させていきます。3府省が連携して、こどもの孤立や自殺を防ぐため取組を強化してまいります。

こどもの自殺対策を推進するためには、一人ひとりへの命の大切さ・尊さ、SOSの出し方等に関する教育を含む自殺予防教育を推進するとともに、学校、教育委員会、家庭、地域が連携して地域全体でこどもを守っていく仕組みづくりが鍵となります。

地方自治体におかれても関係者の連携に努めながら、こどもへの対応の強化に向けてご協力をお願いします。

悩みを抱える方が誰かにひとこと相談できる社会、そして皆がそれを温かく受け止められる社会、そのような社会づくりに向けて、国と地方が力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。

令和5年3月1日

厚生労働大臣 加藤勝信  
文部科学大臣 永岡桂子  
子ども政策担当大臣 小倉将信